



令和3年12月17日
田島わくわく保育園
担任 熊谷・都築

冷たい風が吹き抜ける季節になりましたが、ぱんだ組の子どもたちは大好きな仲間たちと毎日たくさん遊んで、心も体もポカポカになっています。先日はお忙しい中、発表会に来ていただきましてありがとうございました。ピアノーと男女の遊戯を見ていただきました。ピアノーは、ドレミファソの音を耳で聴き分けるリトミックの活動から曲を選び、全員の音が一つの音になるように、気持ちを合わせて練習しました。遊戯は、曲選び・振付などなるべく子どもたちからの考えを形にするように、作ってきました。男児の「ソイヤ」の遊戯のサビの部分は、曲を聴きながら子どもたちが考えた踊りです。ハッピーを脱いで投げるところは、カッコ良く投げる練習をたくさんしました。ハッピーの下に着た腹掛けは、その下に本来ならば白いTシャツを着ようと思っていたところ「裸の方がいい。」と言う、男児全員の意見で当日は裸にしました。(写真撮影の時はTシャツを着ています。) 女児は右手小指でハートを表現するなど細かい動きを取り入れ、しなをつけて踊っていました。途中、動きが細かすぎて全体が合わないから、振付を変更するという相談会を開き、一人一人のアイデアを盛り込み、納得して変更をしたというドラマもありました。前日まで練習に励み、緊張の面持ちで当日を迎えた子どもたちはステージの上で立派な姿を見せてくれました。いつもと違う雰囲気の中で発表した後の達成感は大かったと思います。「頑張って良かった。」「次も頑張ろう。」という気持ちになったと思います。たくさんの拍手をいただきありがとうございました。

今年もあとわずかとなりました。今年1年も皆様のご理解とご協力のもと子どもの健やかな成長を見守ることができたことを心より感謝します。



みんなで作った、保育室の装飾です

縄跳びどんどん跳べるようになっていきます

毎朝9時から9時半を「縄跳びタイム」と呼んで、遊戯室で縄跳びをしています。10月は縄の持ち方も分からない状態から、今は連続100回も前跳びをする強者も出てきました。連続跳びをしているうちに集中が乱れやすくなっても、そこを乗り越えて多くの回数を跳んでいる子どもたちを見ていると集中力が向上していることが分かります。もうやめたいと思っても一度跳ぶのをやめたら、回数のカウントはそこまでです。自分の記録を更新していくために、常に前回の自分と戦っている姿を感じます。前跳び・後ろ跳び・片足前跳び・片足後ろ跳びをそれぞれ100回以上跳ぶと、園長先生から帰りの会の時に皆の前で賞状をもらうことが出来ます。年長児のその様子を見て「賞状もらうまで頑張る」と意気込んでいます。何回も何回もチャレンジする子どもたちを応援しています。



かるた・絵本作り・・・文字に興味が出てきました

発表会でごほうびにかるたをもらってからぱんだ組では、かるた取りが流行っています。読み言葉を聴いて、その言葉に関連する語句や絵などを連想して「これ」と思った札を素早く取る適度な競争もあって、盛り上がっています。まだ字が読めなくても、遊びの中で自然と学んでいます。「ゆはゆうこのゆ」と、自分の名前の札は取りたくて、目が輝いています。また、手作り絵本作りも頑張っています。紙を束ねて本を作って、絵を描いたり、折り紙を貼ったりしていましたが、最近は文字を書きたくて「あいうえお表」を見て書いています。ごっこ遊びではお金が登場して、ますます盛り上がって遊んでいます。文字や数字が分かって書けると楽しいし、便利になることを遊びの中から学んで欲しいと願い、見守っています。

